

# 長野県森林づくり県民税の今後の活用見通し

## 長野県森林づくり県民税残高の状況

令和7年度は税収等の歳入（当初予算ベース）が702,010千円に対し、森林税活用事業のうち人工造林・初期保育の嵩上げ、広く県民が利用する施設等の木造木質化等で当初の予定を下回る事業執行となったため、執行額分について基金から繰り出す歳出は701,708千円となり、令和7年度の森林税残高<sup>※</sup>は、前年度末の353,437千円から353,739千円となりました。

※翌年度への繰越についても、当年度予算の歳出に含めて計上しています

(千円)

歳入・歳出区分		第3期末	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9
税収額	個人		563,453	566,569	572,007	582,476	
	法人		127,012	128,589	128,302	126,024	
基金運用益等			6	386	1,701	1,146	
税収、運用益 A		① 118,080	690,471	695,544	702,010	② 709,646	
前年度森林税残高 B			118,080	318,598	353,437	353,739	
執行可能額 C = A+B			808,551	1,014,142	1,055,447	1,063,385	
活用額	当年度予算		483,980	654,295	692,407	941,128	
	翌年度へ繰越		5,974	6,410	9,301		
歳出 計 D			489,954	660,705	701,708	941,128	
森林税残高 C - D		118,080	318,598	353,437	353,739	122,257	

①：第3期末の森林税残高 118,080千円を、便宜上歳入として記載

②：R8年度の歳入は見込み金額

## 長野県森林づくり県民税残高の推移見通し

森林づくり県民税基金残高のうち、令和7年度に実施できなかった事業分については、各事業目標の達成に向け、令和8年度以降に活用する見込みであり、事業者への普及指導や事業要件の見直し等により事業の加速化を図ります。

また、地域での課題や社会情勢の変化に伴う課題等の解決に向けた森林づくりを進めるため、今後も必要に応じて制度見直しを行い、森林づくり県民税の活用を進めてまいります。

